

ステップ。アップ

山口県下関市富任町6丁目18番18号

T E L: 083-258-0338 F A X: 083-259-8876

ホームページ: http://www.mizunoki.jp

目次

- ■下関病院断酒会の再開
- ■納涼祭 / 下関病院各病棟 ■敬老会 / 認知症治療病棟
- 収名 云 / 総和証冶療病機 ■ つなげようスタッフのわ
- ■家族会の再開 ■水の木知恵袋
- ■新入職員の紹介







下関病院断酒会(入院患者限定)を再開しました

毎回院内外から20名程度参加希望がある下関病院断酒会でしたが、コロナ禍の影響で、長らく活動を休止しておりました。スタッフー同、いつ再開できるか大変気に病んでおりましたが、今回、感染対策委員会と相談の上、7月中旬より、院内の患者さん限定で断酒会を再開しました。会場内では、参加前の手洗いの徹底、マスクの着用、部屋の換気を行いつつ、座席同士の距離を十分にとるなどの感染予防を行っています。

入院患者さんのみの参加のため、以前のように退院後の再飲酒防止の取り組みや、生き生きとした地域生活での工夫点を聞く機会がなくなった寂しさもありますが、少人数だからこそ、 入院に至った経緯やお酒との向き合い方等、一人一人の内容の濃い酒害体験を振り返る時間になっています。

院外からの参加については未だ目途が立っていない状況ですが、今できることを考えつつ、 参加される方が断酒を継続できるようサポートしていきたいと考えています。

家族会を再開しました

新型コロナウイルス感染症の影響により、およそ8か月の間中止となっておりました「下関病院・下関病院附属地域診療クリニック患者家族会」につきまして、10月17日(土)より時間短縮(13:00~14:00)で再開し、20名のご家族が参加されました。コロナウイルス感染症に配慮し、席の間隔を空けて行ったため、これまでの家族会とは少し異なる様子でありましたが、久々の再会に喜ばれるご家族を見ると安心しました。

今後も、検温、マスクの着用、手指のアルコール消毒、ソーシャルディスタンス等の感染防止対策を行います。なお、状況により再度、中止させて頂く可能性がありますが、その際は改めてお知らせ致します。また、部屋の利用人数の制限を目的に新規入会に

つきましても、現時点ではお断りさせていただいている状況です。

ご迷惑をおかけして大変申し訳ございませんが、ご理解いただきますよる中にないいなります。

う宜しくお願いいたします。



理念

地域の精神科基幹病院としての使命を果たし 信頼され親しまれる医療・福祉をめざします

患者さんのために

社会のために

わたしたちは、慈愛と尊敬のこころをもって、患者さんに医療・福祉を提供します。 わたしたちは、個々の患者さんにあった、質の高い医療・福祉を提供します。 わたしたちは、患者さんの視点に立ち、人権に配慮した医療・福祉を提供します。 わたしたちは、関係機関との連携を密接にし、地域のニーズに的確に応えます。 わたしたちは、教育・啓蒙活動を積極的に行い、地域に開かれた医療・福祉活動を実践します。 わたしたちは、限られた医療資源を大切にし、健全で効率的な医療・福祉運営に努めます。

納涼祭を行いました

急性期病棟

急性期病棟では、男性は日本縦断すごろく大会、女性はビンゴ大会を行いました。参加賞は全患者さんにポケットティッシュ、1位のグループにはタオルやTシャツなどの景品をプレゼントしました。患者さんから「すごく楽しかった」という声が多くあり、非常に好評でした。現在コロナの影響で、なかなか集団での活動は難しいですが、季節に合わせた活動を行っていこうと考えています。



男子回復期病棟



男子回復期病棟では、祭りの雰囲気を意識し、実際のスイカを使った<u>スイカ割り</u>、射的<u>ゲーム、くじ引き</u>を行ないました。スタッフも法被を着て患者さんと一緒に楽しみました。

終了後にはかき氷を患者さんたちに振る舞う事が出来、コロナ禍で夏祭りを始め、様々な行事が中止になるなか、患者さん達には一時でも夏祭りの雰囲気を楽しんで頂けたのではないかと思います。



男子リハビリ病棟

夏祭りが中止の今年、コロナ禍のストレスや猛暑による不快感を吹き飛ばそうと、病棟内での納涼祭を計画しました。水鉄砲人間的当てゲームを企画し、看護師、作業療法士がキャラクターの衣装を着て、水鉄砲の的になりました。日頃のストレスを水鉄砲に託し、思う存分に当てる事が出来て、笑いや歓声が上がりました。納涼祭後のアンケートに、「上記のゲームが良かった」と、多くの感想が集まりました。

今回、スタンプラリー形式にし、輪投げ→スイカ割り→水鉄砲的当てゲーム→くじ引き→かき 氷の順に行いました。日頃の活動で、普段は全くゲームに参加されない患者さんが、今回は全 てのゲームに参加するほど盛り上がりました。

かき氷も評判が良く、「売店で買うアイスクリームとは違った」、「季節感も味わえた」と喜んで頂けました。

今回の納涼祭では、全員参加が出来、「参加して良かった」とたくさんの患者さんに満足して 頂けました。

女子回復期病棟



女子回復期病棟では、<u>金魚すくいと射的</u>を一人ずつ行い、出来たらカードにスタンプを押していきました。また、全員でスイカ割りを楽しみ、最後にみんなでかき氷を食べまし

た。作業療法士が一つ一つ手作りしたカードとポケットティッシュを景品として渡すと患者さんから突顔で「ありがとうございます」と感謝の言葉をいただきました。 患者さんからは「楽しかった」「かき氷美味しかった」 「また食べたい」との声がありました。

夏祭りは開催できませんでしたが、時代や患者さんに合わせて今後も楽しめる行事を提供していきたいと思います。



女子リハビリ病棟

女子リハビリ病棟では、病棟スタッフが法被を着て夏祭りの雰囲気をだしました。 ビンゴ大会を実施し、年齢問わず参加する事ができ、楽しめて盛り上がる会となりました。 おやつの時間にかき氷を提供し患者さんからは「おいしい」「夏祭り気分を味わえた」と好評 でした。コロナ感染拡大防止により、今まで通りの院外活動等はできませんが、今後も患者さんが季節感を味わいながら楽しめる活動を計画していきたいと思います。



認知症治療病棟



認知症治療病棟では、機能訓練室を祭り会場として、輪投げ・射的・魚釣りの3つを行 いました。どのブースでも点を取るごとに歓声があがっており、懐かしんで縁日を楽し

んでおられるような雰囲気でした。デイルームでは花火の映像を画 面で流し、夏を感じていただけたようです。その後、かき氷を食べ 「美味しい」「冷たい」等と感想を話されていました。今後も季節 を感じられるような病棟行事を企画したいと思います。



みずの煮

(3)3°(3)

今回は、栄養科から



鶏肉とさつまいもの豆腐グラタン

寒い日に、こころもからだも温まる一品をご紹介。 今回は、ホワイトソースの代わりに豆腐クリームで 作るヘルシーグラタンです。

材料(2人分)

★豆腐クリーム

美豆の希豆腐 …1/2丁

・コンソメ …小さじ1/4

★グラタンの具

鶏もも肉 ···150g

・さつまいも ···100g

・オリーブオイル…小さじ1

…少々 塩コショウ

• ピザ用チーズ …30g

お豆腐は、かじくりさんの 「美豆の希豆腐」を使用しています!

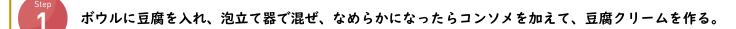


(1人分)

エネルギー量 :335.5kcal たんぱく質

:19.8g 塩 分 :0.7g

作り方



- 鶏肉を食べやすい大きさに切り、さつまいもはよく洗って皮つきのまま1センチ厚さのいちょう切りにし、 耐熱容器に並べてふんわりとラップをし、600Wの電子レンジで1分ほど加熱する。
- フライパンにオリーブオイルを熱し、鶏肉を皮目から焼く。途中、上下を返し、全体に焼き色がついたら 塩コショウで味付けをし、さつまいもを加え、蓋をして約2分中火で蒸し焼きにする。
- グラタン皿に鶏肉とさつまいもを並べ、10の豆腐クリームをかける。その上に、チーズをのせ、トース ターで10分程度(表面に焦げ目がつくくらい)焼いたら…





が

敬老会を行いました

認知症治療病棟で9月24日に敬老会を行ないました。

今回は、歌謡ショーと題してスタッフが"いい湯だな""東京だよおっ母さん"等の歌謡曲を歌い、患者さんと共 に楽しい時間を過ごすことが出来ました。

また、病棟内で最高齢の男性・女性の方に賞状を授与し、皆で祝福しました。最高齢の方から は「いつまでも元気で過ごしたいですね」と一言いただき、温かい会となりました。



新入職員の紹介

河野 美紀 (認知症治療病棟/准看護師)

趣味・特技 :ドライブ :感謝 好きな言葉

長所 :協調性がある 短所 :人見知り

土井 茜 (認知症治療病棟/看護補助者)

趣味・特技 :ウォーキング・ドラマ・映画鑑賞

好きな言葉 :感謝

長所 :相談される、天然、おっとり

短所 :慌てる

西本 光範 (男子リハビリ病棟/看護師)

:映画・サッカー視聴 趣味・特技

好きな言葉 :なし

:マイペース 長所 短所 :マイペース 川上 美由紀 (豊松苑/介護職)

趣味・特技 :温泉

好きな言葉 :楽しまずして何の人生ぞや

長所 :謙虚さを心掛けています

:緊張しやすい 短所

伊藤 真希子 (訪問看護ステーション/看護師)

趣味・特技 :美味しいものを食べること

好きな言葉 :なんとかなるさ

長所 :食べ物の好き嫌いがありません

短所 :緊張しやすい



よろしくお願いします!

つなげよう!スタッフのわ





第34回 スタッフでつなげる、趣味のはなし。

今回は 精神保健福祉科 松岡 麻理 さんです。

子どものころ観た映画の影響で、ずっとボーダーコリーという犬に憧れ ていました。

2年程前に縁あって愛犬を迎え入れることになり、これを機にドッグス

ポーツを始めました。 アジリティーやディスクなど、スポーツを通して犬との信頼関係(と主 従関係)がばっちり結ばれます! おかげで、我が家で私の言うことを一番よく聴いてくれるのは愛犬とい

今年はディスクの大会に出場する予定でしたがコロナ禍のため自粛し、

近場の海や山で遊んでいます♪

藤田 裕介 さんです。 次回は 男子回復期病棟



編集後記

北原白秋の詩に『薔薇ノ木ニ 薔薇ノ花サク。ナニゴトノ不思議ナケレド。』というものがあります。コロナにより様々なことが制限され、改め て"当たり前"の尊さを実感する毎日です。生活しているとどうしてもできないことに目がいきがちですが、今できていることに目を向けていきたいと (広報委員 増田 彩) 感じる詩です。